



Walk with Children

めぐろ



せいび

196号
2023年12月

きょう、ダビデの町に、

あなたがたのために、救い主がお生まれになった

この方こそ主メシアである

(ルカ福音書 2章11節)

校長 シスター 小島 理恵

後期が始まったと思いきや、もう後期前半が終わりを迎えようとしています。子ども達も、「早すぎー！」と声を挙げるほどです。

12月8日の「無原罪の聖母」の祝日には、4年ぶりに全校児童が共に集い、碑文谷サレジオ教会でごミサに与ることができました。4年生以下の子ども達にとっては教会での初めてのごミサでした。ロマネスク様式の大聖堂に子ども達の祈りの声や聖歌が響き渡りました。一人一人の心に神様が温かいものを運んでくださったことと思います。

今月24日はクリスマスイヴ、そして翌25日はイエス・キリストの降誕を祝う日です。今からおよそ2000年前に人々を救うためにイエス・キリストはこの世にお生まれになりましたが、その生活の場・宣教の場は、今、全世界が注目し、平和のために祈りを捧げているイスラエルです。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の3大宗教の聖地がエルサレムに集まっていますが、それは、3つの宗教がもとは同じ神を信じていた証しです。そのような聖地で、数えきれないほどの尊い命が失われています。また、罪のない人々が命の危機にさらされていますが、特に、大けがをした子ども、家族を失い孤独と失望のうちにある子ども達のことを思うと胸が張り裂ける思いがいたします。教皇フランシスコは、戦禍にある国で苦しむ人々に心を寄せ、今年のクリスマスのイベントは控えるようにと呼びかけています。一日も早く平和な世界、安心した生活を取り戻すことができますように、心からの祈りを捧げたいと思います。

コネッシオーネ

Conessione

～つながり～

「Conessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。

ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

父と子と聖霊の御名によって

学校では、自分とは異なる文化や価値観を持った世界中の方々とお互いを理解する姿勢を持つための活動を行っています。5年生は、オーストラリアの小学校と国と国を越えたオンライン交流を行い、全校では、インターナショナルウィークとして、今回はイタリアについて調べたり、知ったりしながら楽しむ機会を持ちました。インターナショナルウィークには、その国の言葉でお祈りを…とまではいきませんが、十字架のしるし「父と子と聖霊のみ名によって」だけ、毎日イタリア語で唱えました。普段とは違う言葉で唱えてみると、反対に日本語の意味も際立ってくるものです。

「父と子と聖霊のみ名によって」という言葉は、丁寧には、「父である神様、あなたを『父』と呼ぶことを教えてくださった子であるイエス様の教えに従って、そして聖霊のはたらきに促されて、神様と私達との関係性の本質の中で、私達はこれからあなたに祈りを捧げます。」となり、それに周りの人達が、「アーメン (はい、私もそう思います。そうでありますように。)」と答えます。

神様は、いつも「私達」という横の関係性の中で、人を通してはたらかれています。私達が集まる場所、集められたところこそ、神様のはたらきがある。そのような中で、共にいてくださるイエス様のご誕生を祝い、その存在を共に感じたいと思います。

読書月間

読書月間は、図書委員会にとってビックイベントです。9月から一生懸命準備をし、月間中は多くの児童が図書委員会の企画に参加し、図書館は毎日笑顔でいっぱいでした。また、「おすすめ図書100冊ポップコンテスト」など新たな試みもあり、学校全体で読書を楽しむ雰囲気がありました。

がんばった読書月間

6年

図書委員会では、みんなにたくさんの本を読んでもらい、読書の楽しみを知っていただくために「ワクワク相談コーナー」「1・2年生への読み聞かせ」「Book ポイント集め」「ポップコンテスト」の企画を考えました。この読書月間が、私たち6年生と5年生の初めての活動で、読み聞かせで1・2年生に喜んでもらえたり、ポップコンテストでたくさんの方が応募してくれたのでうれしかったです。これからもみんなに本を読んでもらえるように頑張っていきたいです。



慰霊の日

「♪この時この日のこの命を主のために大切に生きていたい…」9日、全校児童の歌声が体育館に響き渡りました。11月は、「死者の月」。本校在学中に亡くなった児童や先生、家族、親族、また、紛争や災害において亡くなられた方々を追悼し、ご冥福を祈りました。また、神様と共に生きる「永遠の命」について考え、今生きていることの尊さ、いただいた命を正しく生きることの大切さを感じる一か月となりました。1階の廊下には、たくさんの児童がすすんで描いた「天国のイメージ画」が並びました。作文や詩もたくさん集まりました。「ファッチョ・イオ」の精神が児童に根付いています。

集い中に1・4・6年生の天国への作文が発表されました。

かみさまへ

1年

ぼくは、いのちをたいせつにします。どういうふうにたいせつにするかということ、たのしくあそんで、がんばってべんきょうして、いっぱいうんどうして、いっぱいごはんをたべてせいちょうします。これからもいっしょうけんめいがんばります。



校内郵便局

11月13日（月）から30日（木）まで2年生による校内郵便局が行われました。生活科の学習を通して、学校中の人たちに心のこもったお手紙を丁寧に届け、学校を温かくしたいと意気込んで一生懸命活動しました。郵便局として活動しながら、人のために働くことの喜びを感じた3週間となりました。

校内ゆうびんきょくをがんばった2年生に聞いてみました！

✎手紙を書いてよかったこと

- ・手紙を送った人から、「ありがとう」と言ってもらえました。
- ・ふだん話さない友だちや先生に気持ちをつたえることができました。
- ・手紙を送って、たくさん友だちができました。
- ・ふだん言えないことをつたえられました。
- ・手紙をもらった人がよろこんでくれてうれしかったです。
- ・みんなが笑顔になったし、心があたたかくなりました。
- ・ぼくのグループ下校のペアの子から「校内ゆうびんきょくをがんばってください。」というお手紙がとどいたので、楽しんでくれてるのかなと思いました。

✎仕事をしてよかったこと

- ・はなばいで、10まいずつたばにするとくばりやすかったです。
- ・みんなで力を合わせておしごとをしていて良かったです。
- ・はいたつの階を決めるときに、ゆずり合っていたから良かったです。
- ・みんながたくさんお手紙を書いてくれてうれしかったです。
- ・番号が分からない友だちから聞かれて、「たよりにされているんだな」と思いました。
- ・みんなに「ありがとう」や「がんばってね」と言われてうれしかったです。
- ・みんながよろこんでいるところを見ると、うれしくて良かったです。
- ・みんなのためにがんばるのが楽しかったです。
- ・みんなをしあわせにできてうれしかったです。
- ・みんなの笑顔を見て、うれしくなりました。3年生になったら2年生をおうえんしたいです。
- ・みんなのために心をこめてしごとをしました。



